



大自在

9歳女児はプール授業を楽しみにしていたかもしれない。80歳男性は変わらぬ笑顔で児童におはようと言を掛けていたことだろう。週明けの朝、大阪府を襲った震度

6弱の地震で4人が犠牲となった▼うち、小学4年の女の子は学校プール沿いの外壁の下敷きになり、児童見守りに向かう途中だった男性は民家ブロック塀の崩落に巻き込まれた。楽しい学校生活を送る施設の一部に命を奪われ、児童の安全を守るはずの命を落とした。無念というほかない▼建築家の川口良子さんが本紙「時評」で、心に刻んでいる教えに触れたことがある。「地震で人は亡くならない。地面が揺れるだけである。人を傷つけるのは、揺れる建築物なのだ」▼28人が犠牲となった1978年の宮城県沖地震は、18人がブロック塀などの倒壊による圧死だった。これを機に81年、建築基準法が改正され、ブロック塀や石塀の高さ制限、鉄筋使用が定められた。だが、古い塀は見過ごされ、大きな地震が発生するたびに、悲劇は繰り返される▼ブロック塀の補強や撤去は死傷者の発生を抑えるとともに、避難路確保の障害になる倒壊片の散乱も防ぐ。家屋の耐震化や家具の転倒防止など、自分の身は自分で守る一方、他人の命をどう守るか。構造物が凶器となつてはならないのだ▼今回と同じ最大震度を県内で観測した2009年の駿河湾地震。ブロック塀の倒壊は200件を超えたが、幸い大事には至らなかった。地震防災の先進県に住む者の責務として、改めて確認しておくべきだ。わが家の塀は大丈夫か、と。

2018.6.19

2018年6月19日 朝刊

①()にあてはまる言葉を書きましょう。

「[]で人は亡くならない。[]が揺れるだけである。人を傷つけるのは、揺れる[]なのだ」

②ブロック塀で、人が犠牲になるのは、どうしてでしょうか。

[]

③自分の身を守るために、取り組みたいことを書きましょう。

[]

年 組 名前

(小学校高学年・中学校 社会・理科・総合)